

基調講演

日時：平成19年9月24日（月・祝） 10：00～14：30

講師：マリ クリスティーヌ（あいち海上の森大学 学長）

概況



あいち海上の森大学学長のマリ・クリスティーヌ氏による開校記念講演『ボランティアから学ぶ交流～タイ人にみる人と自然の共生～』を開催しました。

大学の入学生始め、約170名の聴講者が話に聞き入っていました。

【講演内容】

講演では、マリ氏が4歳まで日本で暮らした後、ドイツ、アメリカ、イラン、タイなど、各地で過ごし、様々な気候、自然に触れてきた話から始まりました。タイでのボランティア活動においては、山岳地帯で子供が日常的に売買される現実に直面し、こどもの教育のために学校建設や、現地の汚水処理のためのシステム作りに関わったことを話されました。

マリ氏が実際に体験、体感されたことばかりなので、話される言葉の一つ一つにとっても説得力がありました。また、自身が関わったこととして最近のモンゴルでの植林の話や、万博瀬戸愛知県館の使用材の再利用（小学校の建設）、環境問題のひとつであるバラスト水など、非常に多岐に渡った内容でした。

【お互い様】

講演でもっとも印象深かった言葉の一つが、「お互い様」という言葉です。ボランティアという言葉を使うとき、私たちの多くは、困っている人を助けてあげるという意味で使っているのかも知れません。しかしマリ氏は、そうではなく、何かに困っている人の立場に立てる「気持ちの共有」から行動しているのだと言います。上から「助けてあげる」ではなく、同じ位置に立って、「お互い様だよ」という気持ちが、マリ氏のボランティアの精神なのです。